

## □ テレスコ2による異種フルレンジユニットの共存実験

一つのエンクロージャーに複数のフルレンジユニットを取り付ける場合、よく見かけるのは同一機種を2個、または4個実装されるかたちです。メーカー製も、自作派もたいていそうだと思います。

機種、メーカー、口径の異なるものが共存することは直感的に良くないことが多々起こりそうな先入観がありますが、はたしてそうでしょうか。

昨年発表しました、テレスコ2号機の箱を使用して、正面バッフルをユニットサブバッフル2枚取り付けるようにし、2個の異種フルレンジをそれぞれ単独で試聴し、次に両方を実装して比較試聴を行います。



使用するフルレンジ4点はすべてジャンク品で

東京コーン F77G88-6

メーカー不明 PM-M 0 8 4 1 CK

EASTERN CS101B

フォスター電機 C100K37S1711

2点ずつ単独と共存の音を聞きます

製作過程、関連記事をブログに書いています

ブログ「おおたんの自作オーディオ・カイト・SVX」

鈴木会長・加藤さんのブログからリンクあります

トピック 「テレスコ2用Wユニットサブバッフルの製作 1～2」 「テレスコ2の製作」

以上